

刊夕日六十月四

# 常盤毎日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 発行所 常盤毎日新聞社 印刷所 常盤毎日新聞社  
 電話 六三〇番

## 白虎隊と

なよ竹の碑 (3)  
 安倍 季雄

由布子もニコリ笑つて  
 武士の道とさしをたよりに  
 思ひたつねる黄泉の旅  
 かな

と詠じました。十三才の  
 瀑布も恥かしうに、顔  
 を赤らめ、手をとりて共に  
 行きなば迷はじな

「あとお姉様がつけて頂  
 戴」といへば、十六才の佃  
 布子が直ぐにうけて、

いざ迎らまし死出の山路  
 とつきました。千重子はさ  
 も満足げにうなづいて、く  
 りかへし、皆の歌を口ず  
 さんで居りましたが、やが  
 て用意の短刀の鞘を拂つて

後れてはなりませぬ。「さ  
 ア一刻も早く」と先づ九つ  
 になる田鶴子を刺しました

東京から  
 新京まで  
 汽車で行  
 くには特急でも二日六時  
 間かかるが飛行機なら僅  
 か十四時間で行ける

頑是ない常磐が、あまりの  
 おそろしさに、思はずワッ  
 と泣聲をあげると、片手で  
 しつかと押へつけ。

「たとひ四つでも、お前は  
 お侍の子ではないか」

「味方です」と答へますと  
 さも安心したやうに、血に  
 まみれた九曜の星の定紋つ  
 けた懐剣をぬきとり、信行  
 の前にさし出しました。

「介錯してくれ」といふの  
 だと思ひましたから、信  
 行は涙をのんで介錯をいた  
 しました。別室に居た姑の

「お、嬉しいか」。つよ  
 い子、母様も直ぐに参り  
 ますぞ」とさすがに顔を背  
 けてグサと刺通しかへす刀  
 で美事に自分ののどをつい  
 てそのまゝ息は、たえまし  
 た。眉壽子、由布子、佃布子  
 瀑布子も後れじと立派に自  
 害いたしました。

そこへドヤ／＼と踏み込  
 んで来たのは土洲藩の中島  
 信行外數名の西軍でありま  
 す。

鬼をも欺く兵士面々も此  
 の有様を見ては、どうして  
 心を動かさずに居られませ  
 う。思はずその場に棒立ち  
 になりました。

その足音に気がついたか  
 瀕死の十六才の佃布子がム  
 ツクリ身を起したが、もう  
 眼が見えなくなつたらしく  
 「そこに居るのは敵か味方  
 か」

とたづねました。  
 重態ながら、敵ときかは  
 許すまじき顔色に、信行は

「秋霜飛んで金風冷やかに  
 といふ聯句を辭世代りに  
 書きのこし、七十七歳の外  
 祖母と一緒に、五十八才を  
 なごりに自害いたしました  
 邸内に寄食して居た西郷鐵  
 之助夫婦外一人も同時に  
 節に殉じました。

國産奉行河原善左衛門の  
 妻あさ子も、武士にも劣ら  
 ぬ魂の持主でありました。  
 死ぬ覺悟で白装束を身に纏  
 ひ、六十八才の姑さんきく  
 子と九つになる娘のくに子  
 の手を引いて家を出ました

律子も  
 「秋霜飛んで金風冷やかに  
 といふ聯句を辭世代りに  
 書きのこし、七十七歳の外  
 祖母と一緒に、五十八才を  
 なごりに自害いたしました  
 邸内に寄食して居た西郷鐵  
 之助夫婦外一人も同時に  
 節に殉じました。

産科 長 木村寅次郎  
 婦人科 醫學博士 内木宗八  
 外科 藥劑師 立 番 彌 一  
 藥局

平町新川町十九  
 病室隨意  
 入院完備  
**木村病院**  
 電話一六四番

耳鼻咽喉科専門  
**鈴木醫院**  
 醫學士 鈴木 正男  
 平町田町(電話五八番)  
 藤田女學校前  
 自炊のお需めに應ず  
 入院の便あり

**丹野齒科醫院**  
 丹野 淳 夫  
 平驛前 電話三八五番

難波  
**内科一般**  
 醫學博士 **難波 陸**  
 看護婦募集  
 平町大町新川端  
 電話五〇二

春の洋服は  
**信用堂**へ!!!  
 背廣服(三ツ揃) 拾一圓より  
 レンコート 四圓より  
 バ、リー 二圓二十錢より  
 トレンチー 三圓より  
 レンコート 五圓より  
 女學用  
 外に春物小供服など豊富に取揃へてありますから  
 御散歩がてら店内を御覽下さい

**自轉車は左記**  
 有名車を御撰擇下さい  
 世界的ニ進出セル  
 ◎宮田ノ自轉車  
 夙ニ堅牢輕快ノ定評アル  
 ◎ゼブラノ自轉車  
 實用經濟車トシテ好評アル  
 ◎マーツ自轉車  
 ◎マーツ號の好評をねたみ羊頭狗肉の策を用ひ  
 偽物を販賣なし商權を侵害なしつゝある者あ  
 り法的解決により御得意様の御了解を得ん  
 宮田代理店 エビスヤ商店  
 ゼブラ代理店  
 マーツ代理店  
 電話六六四

平厩館  
 レストラン  
 電話624

### 山林七百餘坪が

## 轟然崩壊す

### 降り頻る雨に地盤ゆるむ 青年團が總出で復舊作業

入遠野村大字大平字美古地内縣道附近の山林七百餘坪は昨十五日午後八時頃降り頻る雨の爲めに地盤がゆるんで突然崩壊土砂は縣道に重積して交通全く絶絶した爲め急報から平土木監督所より係員が出張同村青年團の應援を受けて復舊作業を急いで居るが本日中には復舊する模様であると

### 鮫川水利

#### 組合の總會

鮫川堰水利組合は来る廿日午前十時から團體事務所樓上で臨時總會を開き追加更生豫算及び十年度組合改良工事の地元負擔を協議する

## 戸石平局長

### 酒田へ榮轉

#### 十八日に赴任

#### 局内改善の跡顯著

平郵便局長戸石清氏は今回秋田縣酒田郵便局長に榮轉後任は新潟局電信課長佐藤守節氏と決定、来る十八日午前八時二十分平驛發常磐線下り列車で赴任すると、同氏は昭和六年五月平局長に赴任以來約五年間に亘つて局内職務の能率増進を畫り局員の意見を尊重して常に改善に努め殊に局員の民衆に對するサービスには最も細心の注意を拂つて、自身各係窓口を絶えずな

### 小林主事

#### 福島局へ

#### 惜まる、榮轉

平郵便局庶務係主事小林保雄氏は今回福島局主事に榮轉し後任として直江津局の古川富治郎氏が來任すると向小林主事は懇切な人で且非常な事務に熟達して居

## 優良

### 納税組員

#### 十七日表彰

既報平町の優良納税組合並に組合功勞者の表彰式は明十七日午前八時より町會議事堂に於いて舉行されるが當日表彰される組合管理者は

(五年以上)南町鈴木重太郎 研古齋藤榮吉、刑務所大塚保 紺屋町菅野春吉 三丁目柏原真吉 研古吉村安次郎 播植小路堀喜一 成辰組馬目雅治 (十年以上)田町石坂詮太郎 南町近藤ムメ 立町荒川淺次郎

等十一氏の外市内九十五組合を表彰終つて松ヶ岡公園に觀櫻會を催すと

### 永年勤績

#### 遞信局表彰

四倉郵便局長菅波富太郎氏は勤績四十二年、小名濱局通信手佐川榮次郎氏は同三十五年の永年勤績の爲め来る廿日仙臺遞信局で催される遞信記念日祝典に際し表彰されると

### 本縣教育總集會

#### 平町に開催内定

本縣教育會總集會は六月中心町にて開催することに内定した由

### 財務協議

#### 町村吏員が

平稅務署は来る十九廿日の兩日午前九時より同署樓上

### 縣下職業紹介所長

#### 平町で身賣防止協議

縣下職業紹介所長會議は本月廿七日午前九時から平町丸友樓上に於いて開催、當

及び郡下連絡小學校長等五十餘名出席、事務の連絡並に女子の身賣防止其他に就いて協議があると

### 學級増加

#### 寄附勸誘

#### 先づ炭礦へ

既報石城町村長支會は昨十五日平町會議事堂で評議員會を開き若女の學級増加地元負擔金の寄附募集に關して協議したが来る十八日先づ數名の委員が各炭礦に寄附勸誘の交渉を行ふ事になつた

### 平町農會役員

#### 既報

平町農會は昨十五日午後一時から町會議事堂で幹部の改選を行つた結果會長は諸橋久太郎氏、副會長は關内正一氏、評議員には諸橋國松、荒川恒次郎、猪狩彌作、吉田寅之輔の四氏と決定した

### 土木課長來平

#### 大石

本縣土木課長阿部土木主事の一行は大野、大浦兩村境の霞橋竣工式に臨席する爲め本十六日午後六時二十二分平着列車で來平する

### 第二校自治會

#### 平第

二小學校では昨十五日午後

二時より今年度學校自治會組織に付協議會を開き左記役員を決定した

(常任理事)古市訓導(會長)近藤シヅ子(副會長)鈴木省子(記録係)栗田ケイ子 石井光子(自治新關係)佐藤トヨ 宇佐美キク子 堅田芳江 大和田悦子 飛田ソヨ子 小松崎ミツ子(頌德簿係)會澤ヨシ 横川キミ子

### 平町 人事

△出 生

△田町 當時埼玉縣寄居町字寄居柏原辨一郎氏二女榮子

### 活版 印刷 見習生

二名採用す

年齢十五六歳

希望者は來談あれ

常磐毎日印刷株式會社

平町長橋町

電話六三〇

△白銀町三 尾形八郎(七〇)さん

△八幡小路 當時若松市榮

町山森ノブ(七六)さん

△長橋町 當時朝鮮京城金町二丁目山崎京子(二二)さん

△二丁目 小齋覺彌(六二)さん

### 東北商行

福島縣平町 仲田町七二番地 電話六五三番

ダイヤ

サンゴ 即金買

ヒスエ



印刷の御用は設備完全の「常磐毎日」へ電話六三〇

洋食 喫茶 會

度有難うございます

エビフライ

ピフテキ

666・ETI

女給數名募集

コンパル

平野前新道通り

# 其稼ぎの一萬圓を 空にする夫婦争議

## 十七年に至る汗の結晶

### 盲目亭主の亂業に

#### 我慢が出来ず訴訟

居たが最近信は兼て兎角の噂ある浪江町高田某方へ出入し生業を怠たる様になつた爲めタノは十七年間血と汗で貯めた財産を失つては一大事と中耳炎で發熱中の身を厭はず高田方を訪れ信を諫めた處激怒した信は暴言を浴せて咽喉をしめ發熱中のタノを外へ突出してしまつた、タノは其後知人方へ病軀を養つて居るが苦痛にたへかね此の訴訟に出たものであると

## 郡下教育

### 關係集會

郡下教育關係集會は平第一小學校にて左の如き日程に

## 鬱憤晴しの放火

### 上告を棄却さる

石城郡磐崎村大字藤見字忠田九農高木善吉(五)が酒の上の口論の鬱憤から放火した事件は平支部で懲役六ヶ月を言渡され不服として上告福島地方裁判所に於て原審通りの言渡しに接し更に宮城控訴院に上告したが此程棄却された

## 日光へ……

### 修學旅行

平町各小學校の上級児童が待望する修學旅行は六月一日中野新緑の日光に向つて行ふべく内定した

## 日立リードバンド

### 得意の曲目を蒐む

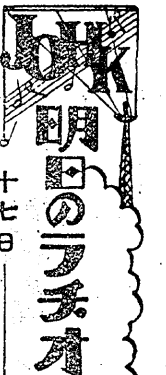
なかや洋服店主催演奏會

平町二丁目なかや洋服店主催日立リードバンド演奏會は来る廿日午後七時より樂館にて開催する事既記の

## 衝突助手

### 遂に死亡

既報去る十三日双葉郡久之濱町字末續地内鐵道踏切で上り急行と衝突した廣野村根本自動車店の助手遠藤松雄(三)連轉手鈴木平之丞(二)の兩名は四倉町木村病



## 明日のラジオ

今晩の部  
後六、〇〇 子供の時間 (名作もの話) 東京放送  
童話研究会  
後六、二五 (京城より)  
講演「朝鮮に於ける農山漁村の振興、自力更生運動」富永文二外  
◎山形縣の夕  
後七、三〇、講演二

## 明日の部

趣味講演 三、歌謡曲  
四、祭文 五、民謡 山形縣知事外大勢  
後九、一〇 連続ラヂオ小説 (一) 湊川合戦秘史  
「白姫もの話」村田嘉久子外  
后九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告

## 明日の部

前六、三〇 英語講堂(四) 須藤兼吉  
前七、〇一 朝の修養 幼學綱要(六) 貞操 深作安文  
前一〇、三〇 家庭講座  
「毛織もの、手入と保存」依田誠  
后一〇、〇五 管絃九重奏 大阪ラヂオオーケストラ部員  
后二、〇〇 母の講座「人工榮養に就て」齊藤潔  
后二、四〇 小學生の時間 國語「鳥の聲」青山師範附小兒童西尾實  
后三、一〇 「學校放送の開始に際して」春山作樹

## 明日の部

后六、〇〇 子供の時間 名作物語「小公子」(二) 東京放送童話研究会  
后六、二五 基礎英語講座 (五) 岡倉山三郎  
后七、三〇 座談會「少年保護と善導」鈴木賢一郎  
后八、〇〇 獨唱二重唱 四重唱「ベルシヤの花園」レマン曲マリアトル他  
后八、三〇 歌謡曲 福島縣梁川町白河町連中  
后八、四五 長唄「賤機帯」芳村伊四郎他  
后九、〇〇 連續ラヂオ小説「白旗姫物語」(二) 汐見洋他

## 神谷青年總會

神谷村青年總會は明十七日午前九時から小學校に開催終つて藤田分會長の講演がある

## 平職業紹介所報告

回人を求める方  
△精米雜役 二十前後 尋

△農夫 三十才 中二修  
△土工 三十六才 商二修  
△事務員 二十才 中卒  
△水汲夫 二十六才 高卒

回職を求める方  
△小守 五十前後 月四一五圓  
△女中 二十二迄 尋卒  
△小役員 十五一六才 高卒  
△月七一八圓

## 「平よいとこ」の唄

### 素晴しい氾濫振り

今春の街の人氣を獨占  
十九日に踊りの競演會

咲き競ふ櫻花に呼應してコロンビアよりデヴューしたレコード岡部夜稚氏(平小唄作歌者)作、古關裕而氏作曲の「平よいとこ」はその素晴しい魅力によつて既に今春の人氣を獨占かつてのサクラ  
音頭以上 にこの歌詞

## 日光へ……

### 修學旅行

平町各小學校の上級児童が待望する修學旅行は六月一日中野新緑の日光に向つて行ふべく内定した

## 日立リードバンド

### 得意の曲目を蒐む

なかや洋服店主催演奏會

平町二丁目なかや洋服店主催日立リードバンド演奏會は来る廿日午後七時より樂館にて開催する事既記の



## 新學期 通學服賣出

男兒用 紺サージ金釦服...3.60  
紺小倉服...1.60  
女兒用 紺セルセーラ服...2.60  
特製黒小倉服...3.60

なかや洋服店

お嬢ちゃんお坊ちゃん  
方の可愛らしい通學服  
を豊富に取揃へ特賣提  
供



# 明治太平記

(上巻及下巻)

(作) 寺島征史

(監) 野口

第一〇一回

## 間牒往来 (6)

築地船坂町御用艦操練所跡、例の異人館ホテル館さき河岸の石垣をよちのぼる者があつた

石垣の上には以上つて

「畜生——ひどい目にはあはせやがらア」

あたりを見廻しふる／＼と身ふるひした

濡鼠になつた船頭風の男

「それにしても後を追ふてきた奴のあの恐ろしい水練の技つたら——」

ひとり呟き、さらにもう一度身ふるひした

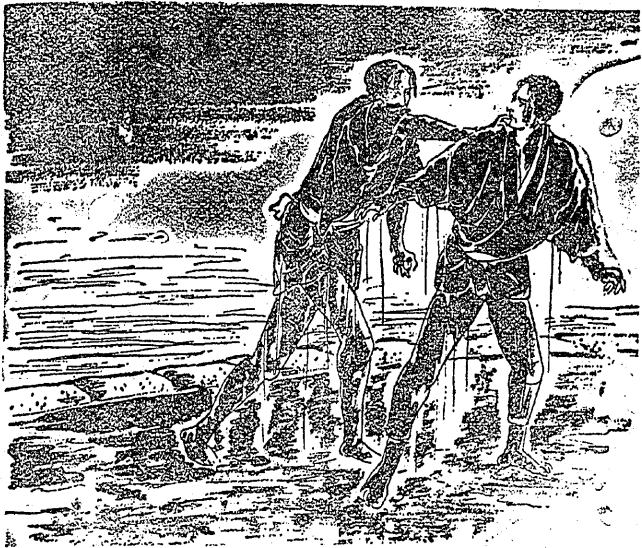
月が、いつの間にか朧に空にかゝつてゐたホテル館の風見の尖針が黄いろい月を真二つにみせてゐる。

「おう寒い、畜生！異人共ア洋妾を抱いて寝てゐるといふ時分に俺ア此通り濡鼠

歩きだした。

「しかし、いゝ話を聞き込だものさア……屋形船で聞き込だ話を井手さんの所へ持つていけばたんまり恩賞にあづかる。少しぐらい寒いなどもの敷ぢやねい」

にやり笑つた。ぐい／＼ぬ



「来い」  
やみくもから現たものはぐいと嘘を装ふ男の手首を取つた。振り返へるとおどろいた。今のさつき隅田の川波を乗きつて自分を追つてきた水練達者な畑常世ではないか、同じく濡鼠のまゝぐつとにらめつけてゐる。「船まで来い。それとも間所迄同行すかか」  
「……」  
おしを装ふ船頭はとぼけた顔をして手を振つてみせた。  
「おのれ、またおしを装ふ

「……」  
わつ……と聲を立てようとしてさすがにそれををさへた。嘘が、それは嘘者なんだ……とけだものなら當意速妙に保護色をおもてにあらはすとところなのだらう男は襟髪をとられながら急にとぼけた容子をしてみせた。

か……やい聲を出せ」

船頭はやはり手をふつた

「聲を立てい、聲を出さぬと其口を引裂くぞ」

「今その石垣で得意げに

吹いてをつたおのれが急に

嘘を装ふても、もう遅いの

だ。聲を出せい」

「ちや旦那」

船頭は不敵にもにやりと薄笑ひを浮べて

「旦那ア、おいらのおしを見破つたのかい」

「あたりまへだ、最初から怪しい奴とにらんでをつたのだ」

「さうか、見破られたからにや仕方がない、どうなりと勝手にしやがれ……と、

いひていがおいらだつてなま身のからだで命が惜しい旦那ア」

「なんだ」

「此場を見逃がして貰ひて

い」

「黙れ、我々の密談を盗み聞た憎い奴此場において首をひねつてくれん、それへ直れ」

「と、とんでもない軍鶏ぢやあるめいし首をひねられてたまるかいかい」

### 市原醫院

平・田町  
電話一四四番

櫻花の季節になりました

お花見の折詰は!!!

## 是非 花見の折詰

時節柄価格低廉

奉仕的勉強致します

平町一丁目

# 不保實

電話一四一番

## 流行パラソル陳列會

今年は断然新生地による新柄一本一本味あひのある當店獨特と自慢の出来得る品のみ仕入に成功致しました。余種類決作品のオンパレードで御座います。特に二重張パラソルのお安い事は驚くばかりで御座います。只今が最良の御いらび時と存じます。店內總陳列

## 大黒屋

平三  
電116

## 春のシヨール賣出し

- 無地ジョーセット …… 九十錢より
- 紋シヨールセット …… 二〇〇〇〇〇
- 紋マレ …… 二〇〇〇〇〇
- ア …… 三〇〇〇〇〇
- 地 …… 〇〇〇〇〇

ハンドバック陳列中

## 大黒屋

平三  
電116

今春の人気を独占する名盤

### 發賣開始!!!

サクラ・平のサクラ音頭

素晴らしい春の序曲

コロムビアレコード

平よいとこ

磐城甚句

まづ御試聴下さい

御買求めは是非弊店へ

……各社レコード新譜續々入荷……

## 金光堂時計店

平・五 電一九五